ADDRESS V125

取扱説明書

取扱説明書を必ず読んで、安全運転をしましょう。

SUZUKI

スズキ車をお買いあげいただきありがとうございます。

車は取扱いを誤ると事故や故障の原因となります。正しい取扱いをご理解いただくため運転する前に、必ず取扱説明書をお読みください。そして安全で快適なバイクライフをお楽しみください。
またメンテナンスノートもぜひお読みください。

- この取扱説明書には、お車の正しい取扱いかた、安全な運転のしかた、簡単な点検、整備の方法などについて説明してあります。
- 「**必読！安全運転のために**」および次のシンボルマークで示したところは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠警 告	取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容または物的損害の発生が予想される内容を示しています。
アドバイス	お車のために守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを示しています。

お車受け取りの際は、お買いあげいただいたスズキ販売店より取扱説明書、メンテナンスノートを受け取り、下記の説明を受けてください。

◇ お車の正しい取扱い方法
◇ 日常点検、定期点検
◇ 保証内容と保証期間
◇ 保証書の発行《保証書登録票の記入・捺印》

- お車を譲られるときは、次に所有される方のためにこの取扱説明書とメンテナンスノートをお渡しください。
- 仕様の変更などにより、この取扱説明書の内容とお車が一致しない場合があります。ご了承ください。

☆この車は、平成11年排出ガス規制適合車です。

もくじ

必読！安全運転のために

運転の前に 2
運転中は 5
車の整備など 7

取扱いの方法

各部の名称 8
メータの見かた 10
スイッチの使いかた 12
ハンドルロック 16
シート 17
ヘルメットホルダ 17
トランク 18
フロントラック 19
フロントフック 19
ピリオンフットレスト 19
ガソリンの給油 20
U字ロックホルダ 20

正しい運転操作

エンジンのかけかた 21
発進のしかた 23
ブレーキの使いかた 26
止まりかた 27

お車の点検

日常点検、定期点検 29
日常点検項目 30

簡単な整備

簡単な整備 31
ブレーキ 31
エンジンオイル 33
エアクリーナ 36
ヒューズ 37
バッテリー 38
タイヤ 39

お車の手入れ

洗車 40
保管のしかた 40
環境を保護するために 42

サービスデータ

主要諸元 43
サービスデータ 44
車台番号 44

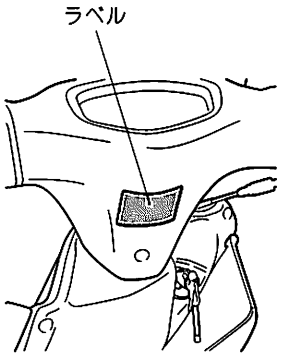
必読！安全運転のために

運転の前に

この章にあげた、日常走行する上での基本的な注意事項を守り、安全運転を心がけてください。

車の購入当初は、誰でも細心の注意をはらって運転しますが、慣れるに従い注意を怠ってしまいます。事故防止のため、いつも細心の注意をはらって運転しましょう。

重要な事項を書いたラベルが車に貼られています。これらの注意をいつもお守りください。



◇取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
◇ヘルメットを正しくかぶりましょう。不適切な着用は転倒時などにヘルメットが脱げてけがをするおそれがあります。
◇マフラは熱くなります。人が触れることのない場所に駐車するなどの配慮をしましょう。
◇ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
◇安全運転、迷惑防止のため不正改造は行わないようにしましょう。
◇定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

■ 安全な運転は正しい服装から

- ヘルメットを必ず着用してください。頭にしっくり合ったS、SGまたはJISマークのある二輪車用ヘルメットをかぶり、あごひもをしっかりしめましょう。
- ヘルメットシールドまたはゴーグルを使用してください。
- グローブの着用、摩擦に強い皮製が適しています。
- 服装は明るく目立ち、体の露出の少ない長袖、長ズボンを着用してください。万一のとき身体への衝撃を軽減します。
- 運転を阻害するような服装はやめましょう。そで口の広い服や、すそ広のズボンなどは運転操作の邪魔になります。
- 運転操作のしやすいくるぶしまで覆う靴をはいてください。

⚠警 告

- **ヘルメットを正しくかぶってください。正しくかぶらないと事故の際重大な傷害を負う可能性が高くなります。**
- **運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり正しい服装で乗車してください。**

- うしろの席に乗る人は、背丈の長いジャケットやコートを着用しないでください。テールランプやターンシグナルランプが覆い隠されて、後続の車に見落とされるおそれがあります。
  やむを得ず着用する場合は、ジャケットやコートのすそをお尻の下に敷くなどして、テールランプやターンシグナルランプが覆い隠されないようにしてください。

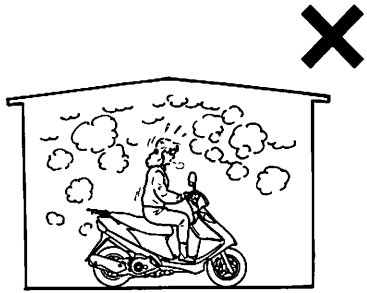
■ 点検整備をしましょう

事故や故障を未然に防ぐため、日常点検と定期点検を必ず実施してください。
いつもと違う音やにおいがしたり、液漏れした場合などは、スズキ販売店で点検を受けてください。

運転の前に

■ エンジンをかけるときは

風通しのよい場所でエンジンをかけてください。

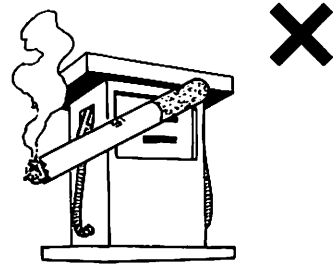


⚠警告

● 排気ガスには一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中など、風通しの悪い場所では、エンジンをかけないでください。排気ガスにより、ガス中毒を起こすおそれがあります。

■ 給油するときは

● ガソリンを給油するときは、エンジンをとめて火気を近づけないでください。

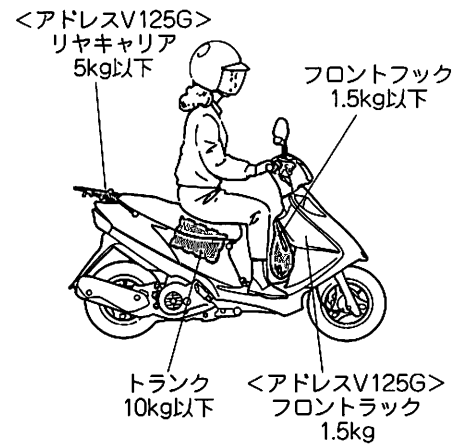


■ 乗車定員は2名

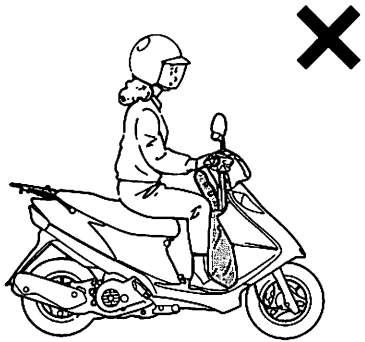
ただし運転者が2輪免許を取得して1年を経過していない場合は、2名乗車ができません。

■ 荷物

● 荷物を積むと、積まないときにくらべ操縦性・安定性が変わります。
● 荷物はゴムバンドなどでしっかり固定してください。
● 荷物の積載は下記重量までです。積み過ぎないようにしてください。
● 荷物は下記以外の場所に積まないでください。



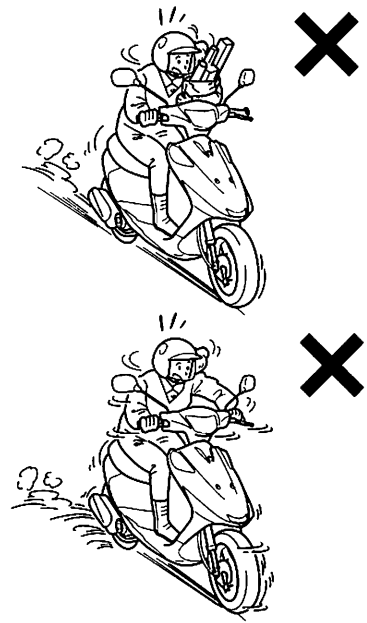
- フロントフックには車体からはみ出したり、足に当たったりするような大きな荷物は掛けないでください。走行やハンドル操作に支障をきたすおそれがあります。
- フロントラックから荷物をはみ出さないでください。ハンドル操作に支障をきたすおそれがあります。



運転中は

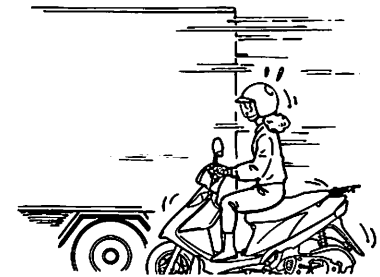
■ 乗りかた

- 運転中は両手でハンドルを握り、足をステップボードに置いてください。
- 急激なハンドル操作や片手運転は絶対にしないでください。横すべりや転倒の原因となります。



■ 風が強い日は

横風が強いとき、トンネルの出口や橋の上、あるいは大型トラックに追い越されたり追い越したりするときは、横風を受けて車が流されることがあります。
スピードを抑え、ハンドルをしっかり握って運転しましょう。



■ 雨の日、雪の日は

- 路面がすべりやすいので急加速、急減速、急ブレーキは避けてください。
- ふだんよりスピードをおとして、早めにブレーキをかけてください。

運転中は

■ 駐車するとき

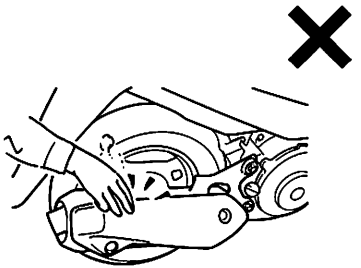
車から離れるときは、必ずハンドルをロックし、キーは抜いてお持ちください。

- 交通の邪魔にならない場所に駐車してください。
- 違法駐車はしないでください。
- 車は平らな場所に、ハンドルを左にきって駐車してください。ハンドルを右にきった状態での駐車は避けてください。
- やむをえず傾斜地、砂利の上、でこぼこな所、やわらかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、車が転倒したり、動いたりしないように十分留意してください。

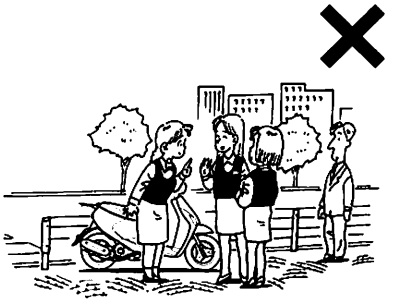
⚠警告

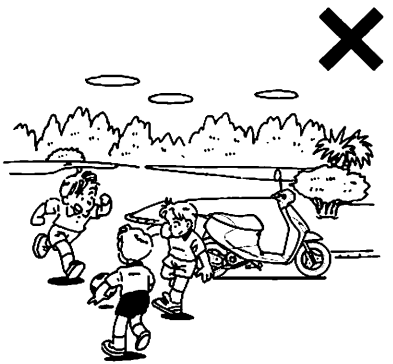
- **エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。**

- エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどに触れないでください。



- 他の人がマフラ、エンジンなどに触れることのない場所に駐車してください。



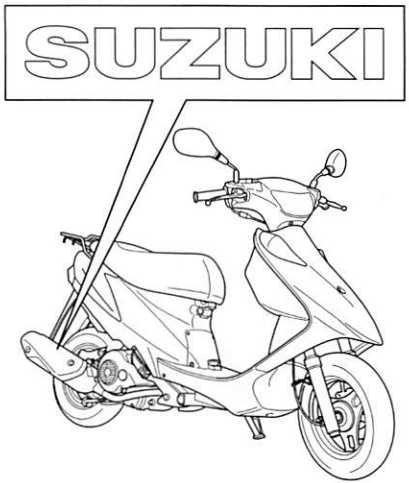


車の整備など

■ 不正改造はやめましょう

車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪くしたり、排気音を大きくしたり、ひいては車の寿命を縮めることになります。このような改造は法律に触れるばかりでなく、他の人の迷惑となります。
車の改造は保証の適用を除外されますのでご了承ください。

- マフラには、スズキ純正部品を表す“SUZUKI”マークが刻印されています。

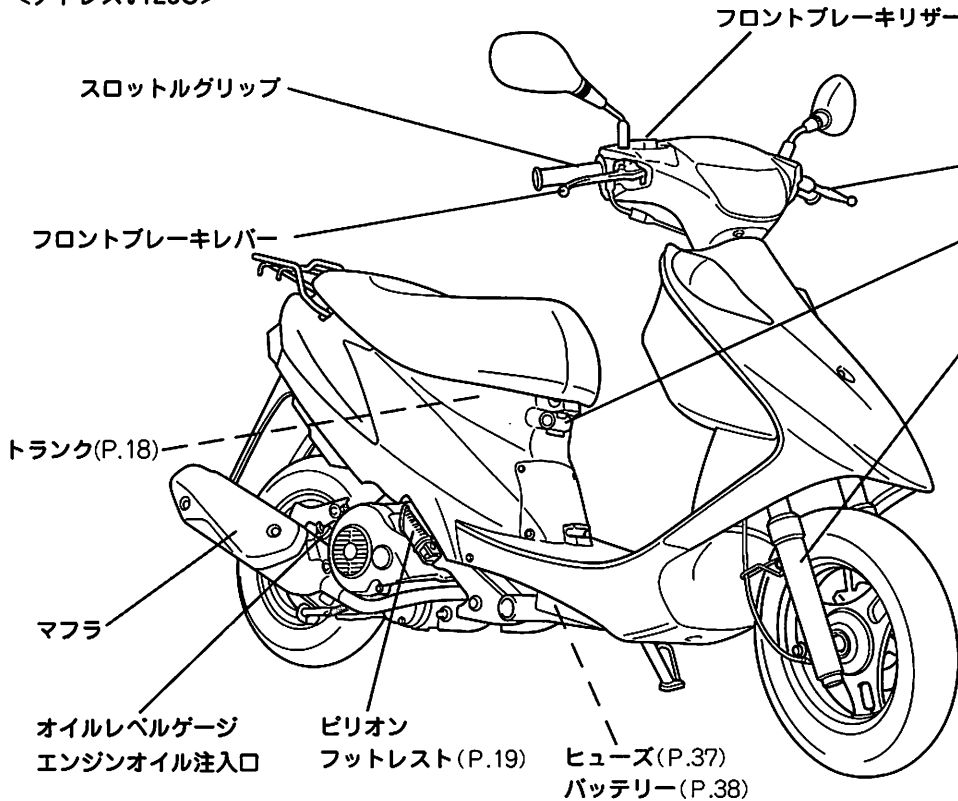


- 自己流のエンジン調整、部品の取外しは行わないでください。エンジン調整はスズキ販売店にご相談ください。
- あなたのお車に適したスズキ純正部品および指定・推奨油脂類をお使いいただくことをおすすめします。純正部品は厳しく検査し、スズキ車に適するように作られています。純正部品には下記の表示があります。

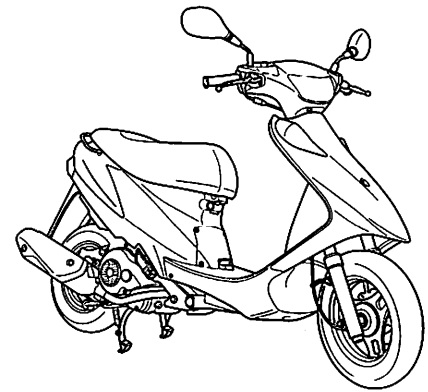
取扱いの方法

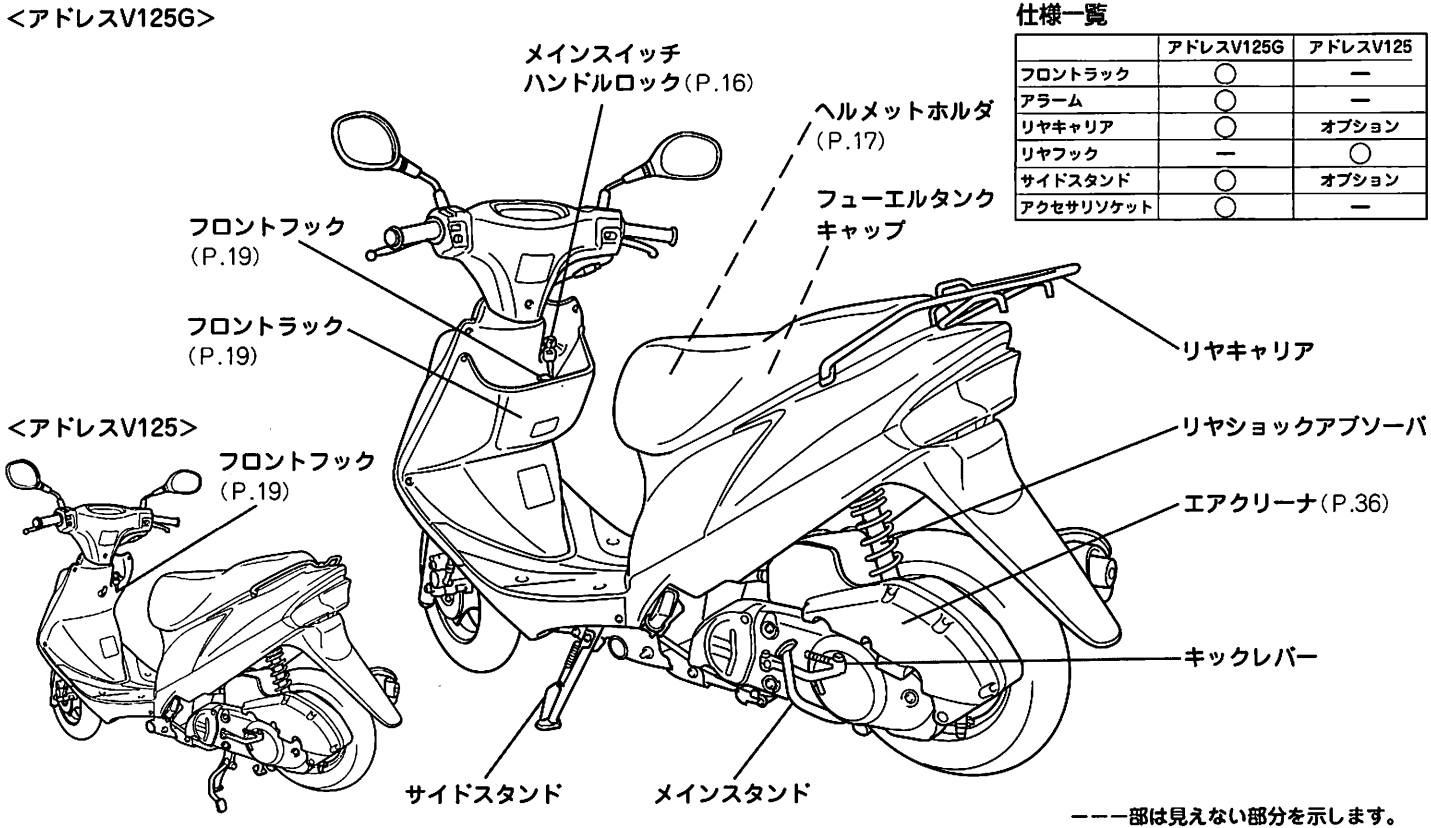
各部の名称

<アドレスV125G>



<アドレスV125>





仕様一覧

	アドレスV125G	アドレスV125
フロントラック	○	―
アラーム	○	―
リヤキャリア	○	オプション
リヤフック	―	○
サイドスタンド	○	オプション
アクセサリソケット	○	―

―――部は見えない部分を示します。

メータの見かた

■ スピードメータ

車の走行速度をkm/hの単位で示します。

アドバイス

- 法定速度を守りましょう。

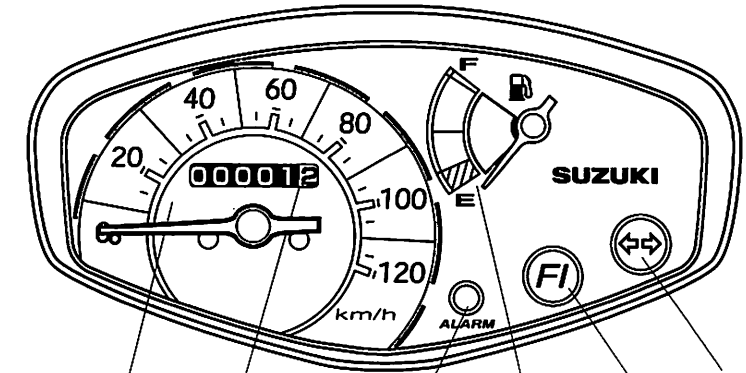
■ オドメータ

- 走行した総距離をkmの単位で示します。白地に黒字は100mの単位です。
- オイル交換や定期点検などの目安となります。

■ フューエルメータ

フューエルタンク内のガソリン残量の目安を示します。▨ 部を指しかけたらガソリンを補給してください。

▨ 部を指しかけたときの予備燃料容量は約2Lです。



スピードメータ
オドメータ
アラームインジケータ
<アドレスV125G>
フューエルメータ
FI警告灯
ターンシグナル
インジケータ

■ FI警告灯

- メインスイッチをONにするとランプチェックのため約3秒間点灯します。
- 燃料噴射機構に異常が起きると点灯またはゆっくり点滅します。
- バッテリー性能が低下すると早い点滅(3回1セット)を繰り返し、点検を促します。

⚠注 意

● FI警告灯が点灯またはゆっくり点滅したら、すぐにスズキ販売店で点検を受けてください。

アドバイス

● FI警告灯が早い点滅をしたら、すぐにスズキ販売店で点検を受けてください。

■ アラームインジケータ

<アドレスV125G>

- ハンドルロック時アラーム音に連動し点灯します。
- アラームセット状態のときゆっくり点滅し、アラームが作動中であることを知らせます。

■ ターンシグナルインジケータ

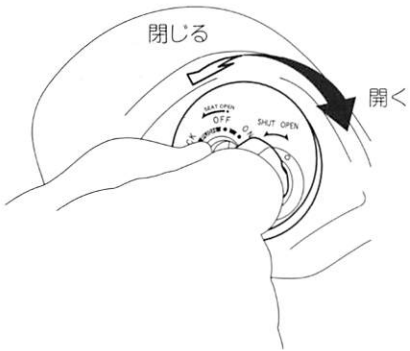
ターンシグナルランプが作動すると点滅します。

スイッチの使いかた

■ シャッタ付メインキー

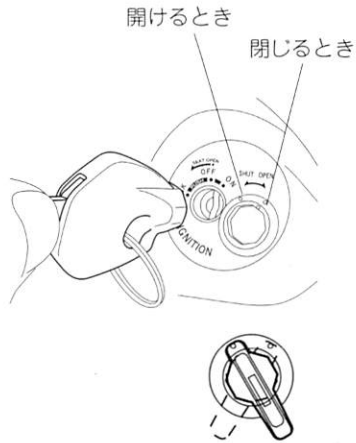
盗難やいたずら防止のため、シャッタ付メインキーを装備しています。車から離れるときは、シャッタを閉じましょう。

キーのマグネット部を窓にはめ込み、左に回してシャッタを閉じます。
同様に右に回してシャッタを開けます。



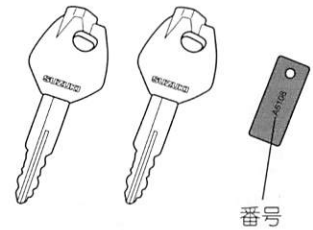
アドバイス

- **シャッタを閉じるときは右側のマーク、開けるときは左側のマークにキーを合わせてください。**



<キーの取扱い>

この車にはキーが2個とキー番号を印したプレートがセットされています。



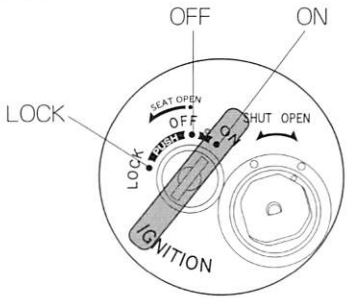
アドバイス

- スペアキーは大切に保管してください。
- ブランクキーを注文するとき、プレートのキー番号が必要になります。大切に保管してください。
  番号を控えることをおすすめします。

  キー番号 _____

■ メインスイッチ

電気回路のON-OFFをキーを回して行います。



ON

- エンジンの始動、走行ができます。
- メータランプが点灯します。
  エンジンが始動するとヘッドランプ、テールランプが点灯します。
- スイッチ、ランプ類が使えます。
  [ターンシグナル、ホーン、スタータ]
- キーが抜けません。

OFF

- エンジンが停止します。
- ランプ類が使えません。
- キーが抜けます。

LOCK

- ハンドルがロックします。
- ランプ類が使えません。
- キーが抜けます。

SEAT OPEN

- キーを左に回すとシートロックが解除されます。

⚠警告

- **走行中はキーを操作しないでください。思わぬ事故につながることがあります。キーは停車後操作してください。**

アドバイス

- **メインスイッチONでメータランプが点灯するため、エンジンをかけずにONのままにしておくとバッテリーあがりの原因となります。**
- **車から離れるときは、盗難防止のためハンドルをロックし、必ずキーを抜いてお持ちください。**

スイッチの使いかた

■ ターンシグナルスイッチ

右折または左折するときや進路変更などの合図に使います。

右折

スイッチを ⇨ 側に押すと、右側ターンシグナルランプが点滅します。

左折

スイッチを ⇦ 側に押すと、左側ターンシグナルランプが点滅します。
スイッチを押してランプを消します。

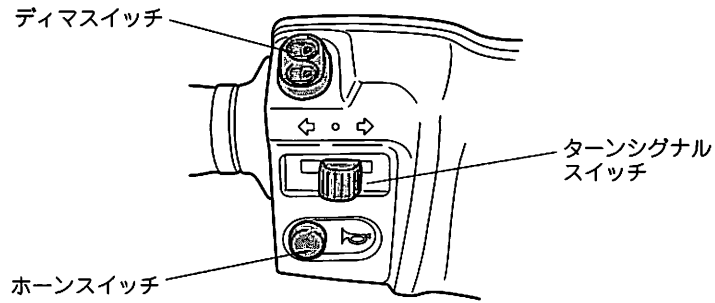
⚠警告

- **ターンシグナルスイッチは自動的に解除されません。使用後は必ずスイッチを押して解除してください。点滅したままにしておくと周囲の誤判断を招き、事故を起こすおそれがあります。**

アドバイス

- **ターンシグナルランプの電球(バルブ)に、正規ワット数以外のものを使用するとターンシグナルが正しく作動しません。必ず正規ワット数のものを使用してください。**

それぞれのスイッチはメインスイッチが **ON** のとき作動します。



■ ディマスイッチ

ヘッドランプの向きを切り換えます。

ハイビーム

スイッチを ≡D 側に押すと、ヘッドランプが上向きになります。

ロービーム

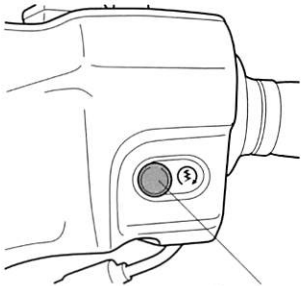
スイッチを ≡D 側に押すと、ヘッドランプが下向きになります。

アドバイス

- **対向車や先行車があるときはロービームで走行してください。**

■ ホーンスイッチ

スイッチを押すとホーン(警音器)が鳴ります。



■ スタータスイッチ

ブレーキレバーを握り、スイッチを押すとスタータモータが回転し、エンジンが始動します。

アドバイス

- **スタータモータを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。**

ハンドルロック

車から離れるときは、盗難防止のためにハンドルロックをかけましょう。

＜かけかた＞

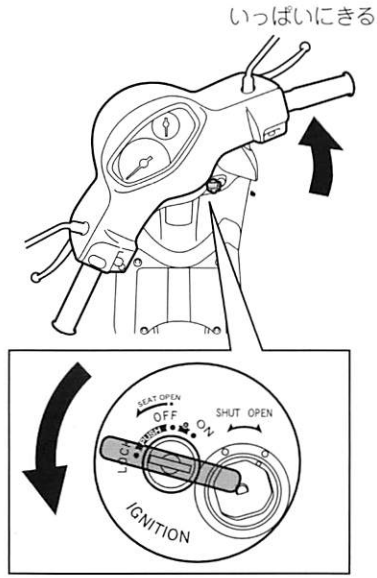
1.ハンドルを左へいっぱいにきります。
2.キーを押しながらOFFからLOCKまで回します。
3.キーを抜きます。

アドバイス
- ハンドルを左右に動かして、確実にロックされているか確認してください。

＜外しかた＞

キーを差し込み、押しながらOFFまで回します。

⚠注 意
- 走行前にハンドルを左右に動かして、切れ角が左右均等かを確認してください。



＜盗難防止アラーム：アドレスV125G＞

ハンドルロックをかけると自動的にアラームがセットされ、車を移動させようとするとアラームが鳴ります。

1.キーをLOCKにするとスタンバイ状態になり、この時ピッと音がします。
2.約1分後アラームセットの状態となります。この時ピッピッピッと音がします。
- ハンドルロックを解除するとアラームを解除します。

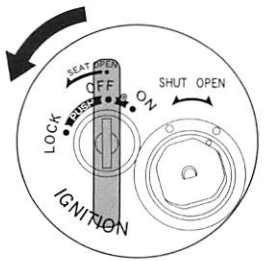
アドバイス
- アラームをセットしない場合は、キーをOFF → LOCK → OFF → LOCKと1秒以上3秒以内で操作します。この時ピッピッと音がします。
- アラームセットの状態は、約10日経過すると解除されます。
- 小さな揺れでは、「ピッ」と小さくアラームが鳴ります。

シート

トランクの使用はシートを開けて行います。

1. メインスイッチにキーを差し込み、左に回してロックを解除します。
2. シートの後部を持ち上げ、シートを開けます。

● シートを軽く押し下げるとシートロックがかかります。



⚠注 意

- **シートがロックしたことを確認してください。シートロックがかからない状態で運転すると、走行に支障をきたすことがあります。**

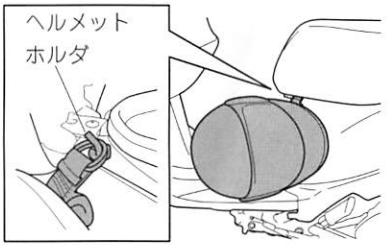
アドバイス

- **シートを軽く持ち上げ、ロックがかかったことを確認してください。**
- **シート下にキーを置いたままロックすると、キーが取り出せなくなりますので注意してください。**

ヘルメットホルダ

ヘルメットの盗難防止のため、ヘルメットホルダを使いましょう。

1. シートを開けます。
2. ヘルメットホルダにヘルメットの金具をかけます。
3. シートを閉じます。



⚠警 告

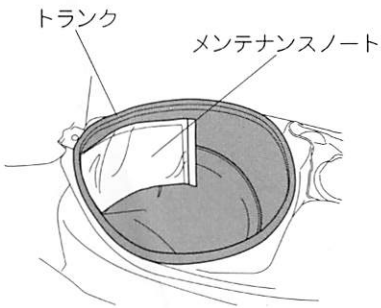
- **ヘルメットホルダにヘルメットをつけたまま走行しないでください。運転の妨げになります。またヘルメットに損傷を与え保護機能を低下させます。**

アドバイス

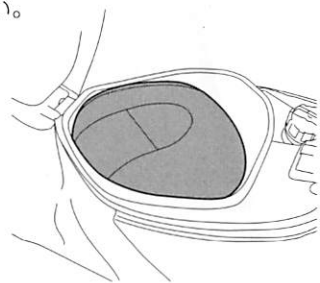
- **ヘルメットによっては、ヘルメットの形状やあごひもの長さにより、ヘルメットホルダに取り付けできないことがあります。**

トランク

シートを開けるとトランクがあります。
荷物の積載は10kgまでです。
メンテナンスノートはビニール袋に入れてここに保管してください。



ヘルメットは図のように入れてください。



⚠注 意

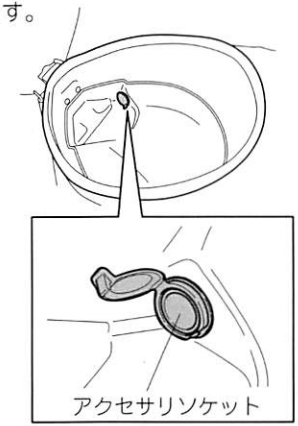
- **トランク内はエンジンの熱や直射日光などで温度が高くなります。熱の影響を受けやすいもの、食料品、可燃性のものは入れないでください。**

アドバイス

- **壊れやすいものは入れないでください。**
- **車から離れるときは貴重品を入れたままにしないでください。**
- **雨や洗車時などトランク内に水が入ることがあります。大切なものを入れる場合は、ご注意ください。**
- **ヘルメットは、その形状や大きさにより、トランクに入らない場合があります。**

<アクセサリソケット：アドレスV125G>

トランクの右側にアクセサリソケットがあります。



アドバイス

- **携帯電話の充電専用です。他のアクセサリの接続は、車の電気回路やアクセサリに損傷を与えることがあります。**
- **バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。**
- **使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。**
- **シガーライタは使用しないでください。**

フロントラック

<アドレスV125G>

小物などを収納するラックを装備しています。荷物の積載は1.5kgまでです。

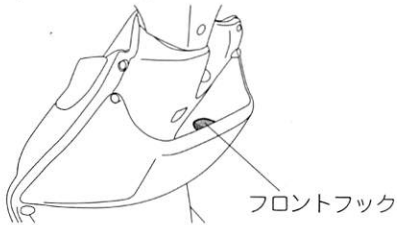
⚠注 意

- フロントラックから荷物をはみださないでください。ハンドル操作に支障をきたすおそれがあります。

フロントフック

買い物袋などを掛けることができるフックを装備しています。荷物の積載は1.5kgまでです。

<アドレスV125G>



<アドレスV125>

⚠注 意

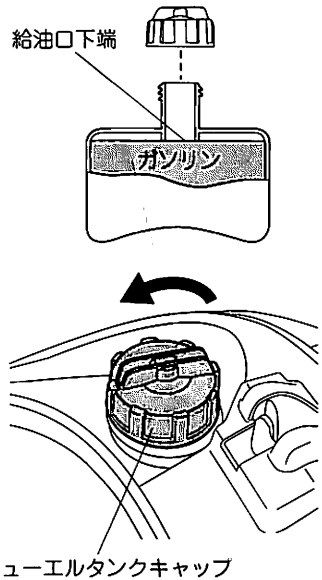
- フロントフックには車体からはみ出したり、足に当たったりするような大きな荷物は掛けないでください。走行やハンドル操作に支障をきたすおそれがあります。

ピリオンフットレスト

車体下部に2人乗り用のフットレストがあります。手で引き出して使用します。

ガソリンの給油

1. シートを開けます。
2. フューエルタンクキャップを左に回して外します。
3. ガソリンを給油口の下端まで入れます。
   指定燃料：無鉛レギュラーガソリン
4. フューエルタンクキャップを右に回し確実に取付けます。



⚠警 告

ガソリンは引火性が高く取扱いを誤ると火災を起こすおそれがあります。

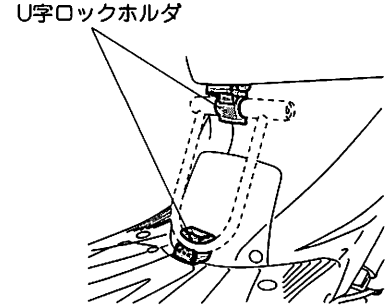
- **ガソリンを給油するときは、エンジンをとめて火気を近づけないでください。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。静電気を帯びていると、放電の火花でガソリンに引火するおそれがあります。**
- **給油操作は、一人で行い他の人を近づけないでください。**
- **ガソリンは給油口下端より上に入れないでください。キャップからガソリンがにじみ出ることがあります。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**
- **こぼれたガソリンは、布などで完全にふき取ってください。**

⚠注 意

- **必ず無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、その他アルコール系の燃料、軽油などは、エンジンや燃料系統を損傷する原因となります。**

U字ロックホルダ

オプションのU字ロックを格納することができます。



アドバイス

- **U字ロックの種類や形状、大きさなどにより格納できない場合があります。**

エンジンのかけかた

＜エンジンをかける前に＞

- ガソリン、オイル量を確認します。
- メインスタンドを立ててください。
- 車の左側に立ってください。

⚠警 告

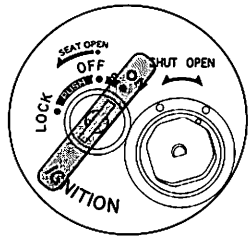
- **排気ガスには一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中など、風通しの悪い場所では、エンジンをかけないでください。排気ガスにより、ガス中毒を起こすおそれがあります。**

アドバイス

＜アドレスV125G＞

- **サイドスタンド戻し忘れ防止装置により、サイドスタンドが出ているときはエンジンがかかりません。またサイドスタンドを出すとエンジンは停止します。**
- **サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、給油してください。**

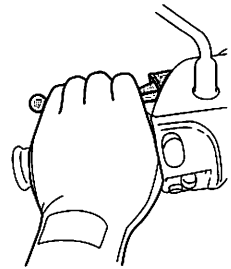
1.メインスイッチをONにします。



アドバイス

- **メインスイッチをONにすると、約2秒間 FI の作動音がしますが異常ではありません。**

2.リヤブレーキレバーを握ります。

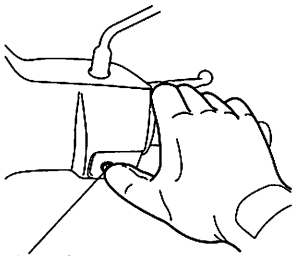


⚠注 意

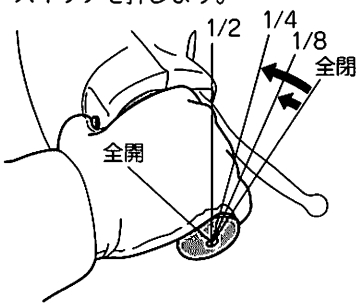
- **飛び出し防止のため、エンジンをかけるときは必ずリヤブレーキレバーを握ってください。**

エンジンのかけかた

3.スロットルグリップは回さずに、スタータスイッチを押します。



- 2～3回スタータスイッチを押してもエンジンがかからないときは、スロットルグリップを1/8～1/4ほど回し、スタータスイッチを押します。



アドバイス

- **スタータスイッチを押して5秒以内にかからないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10秒くらい休んでからもう一度押してください。**
- **エンジンがかかったらスタータスイッチ、スロットルグリップを戻してください。**
- **長期間エンジンをかけなかったときや、ガス欠しガソリンを給油したときは、エンジンがかかりにくいことがあります。このようなときはスロットルグリップを回さないでスタータスイッチを通常より多く使ってください。**
- **スロットルグリップを約2/3以上回してスタータスイッチを押すと燃料、点火が停止し始動できないようになっています。**

4.エンジンが冷えているときは、しばらく暖機運転をします。

⚠注 意

- **バッテリー充電などのために、長時間のアイドリングはしないでください。オーバーヒートなどによる不具合の原因となります。**

アドバイス

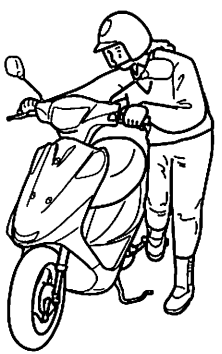
- **不必要な空ふかしはしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなくエンジンに悪影響を与えます。**
- **この車は、転倒したとき自動的にエンジンを停止するシステムを装備しています。再始動するときは、システムの作動を解除するためメインスイッチを一度OFFにしてください。**

■ キックレバーを使っての始動

バッテリーあがりのときはキックレバーで始動します。

1.「エンジンをかける前に」の項目を確認して、メインスイッチをONにします。
2.リヤブレーキレバーを握ります。
3.キックレバーを力強くキックします。

- 4～5回キックしてもエンジンがかからないときは、スロットルグリップを1/8～1/4ほど回し、キックします。



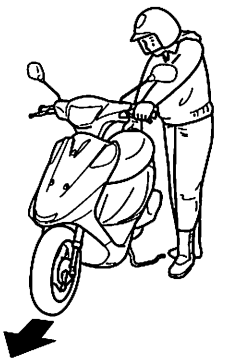
アドバイス

- **エンジンがかかったらキックレバー、スロットルグリップを戻してください。**
- **長期間エンジンをかけなかったときや、ガス欠しガソリンを給油したときは、エンジンがかかりにくいことがあります。このようなときはスロットルグリップを回さないで、通常より多くキックしてください。**
- **バッテリーの電圧が低下しすぎるとキックレバーを使用してもエンジンがかからない場合があります。この場合はバッテリーを充電してください。**
- **スロットルグリップを約2/3以上回してキックすると燃料、点火が停止し始動できないようになっています。**

発進のしかた

1.メインスタンドを戻します。

左手でリヤブレーキレバーを握り、右手でリヤキャリアを持ち、車を押してメインスタンドを戻します。



アドバイス

- **メインスタンドを立てたり、戻したりするときは必ずリヤキャリアを持ってください。シートは持たないでください。**

発進のしかた

2.乗車します。

両手でハンドルを握り、車の左側から乗車しシートに腰をおろします。左足は地面につけて倒れないようにします。

⚠注 意

- **飛び出し防止のため、リヤブレーキレバーは発進するまでしっかりと握っていてください。**

アドバイス

- **走り出すまではむやみにエンジン回転を上げないでください。**

3.安全を確認します。

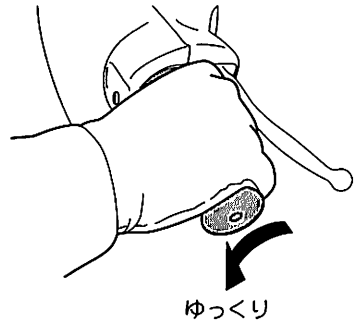
発進の合図(右側ターンシグナルランプの点滅)をし、前後の安全を確認します。

アドバイス

- **近くに人がいる場合、交通量の多い道路、夜間などでの発進には十分注意してください。**
- **後方の車には特に注意しましょう。**

4.発進します。

リヤブレーキレバーを放して、スロットルグリップをゆっくり手前に回すと車は走り出します。



⚠警 告

- **スロットルグリップを急激に回すと、急発進して事故を起こすおそれがあります。**

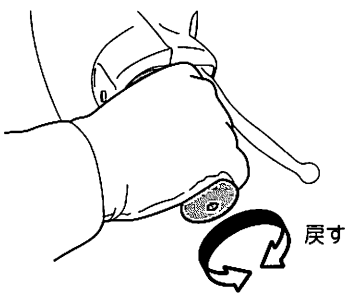
アドバイス

- **発進したらすみやかにターンシグナルランプを消灯してください。**

スロットルグリップでスピードを調整します。

手前に回す
- スピードが速くなります。
- ゆっくり回しましょう。

戻す
- スピードが遅くなります。
- すばやく戻しましょう。



アドバイス

- **むやみにエンジンの回転を上げないでください。エンジン寿命に悪影響を与えます。**
- **法定速度を守って走りましょう。**
- **走行中に異常を感じたら、すぐにスズキ販売店で点検を受けてください。**

「感情的な走りはいけません
心のブレーキを忘れずに！」

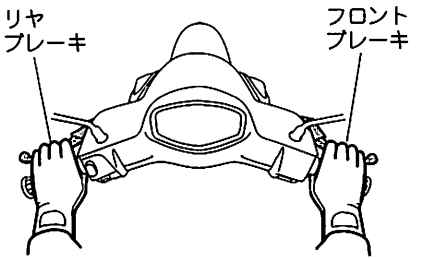
<ならし運転>

ならし運転を行うと、お車の寿命を延ばします。

- 最初の1,000kmを走行するまでは、スロットル開度1/2以下で走行してください。
- 新しいタイヤはスリップしやすいので、車を深く倒さないでください。倒す角度は徐々に大きくしてタイヤをならしてください。
- 不必要な空ふかしや急加速、急減速、急ハンドル、急ブレーキは避けてください。

ブレーキの使いかた

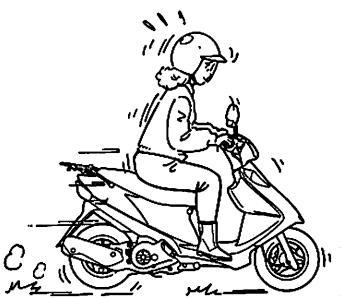
ブレーキは前後同時に使いましょう。



- スロットルグリップをすばやく戻してから、ブレーキレバーを握りましょう。
- 徐々にブレーキをかけスピードを落としていくのが上手なかけかたです。

⚠警告

- **フロントブレーキまたはリヤブレーキのみ使うと、車が横すべりして転倒するおそれがあります。**
- **濡れた路面や雪道、凍った路面は、乾いた路面より制動距離が長くなります。早めにブレーキをかけてください。**
- **長い下り坂などでは、連続的なブレーキ操作は避けてください。ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。**
- **不必要な急ブレーキは避けましょう。急ブレーキは横すべりや転倒の原因となります。**



アドバイス

- **濡れた路面ではスリップしやすいので急激なブレーキは避け、スピードを落として余裕をもったブレーキ操作をしましょう。**
- **洗車後や水たまり走行後は、ブレーキのききが悪くなる場合があります。ききが悪い場合は、前後の車に十分注意して低速で走行しながら、ききが回復するまでブレーキを軽く作動させてください。**

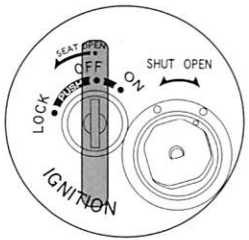
止まりかた

1.合図を出します。

- 早めにターンシグナルランプを点滅させ他の車に注意しながら、徐々に左に寄ります。
- スロットルグリップを戻して前後ブレーキをかけます。ストップランプが点灯し後車への合図にもなります。

2.メインスイッチをOFFにします。

車が完全に止ったら、ターンシグナルランプを消し、キーをOFFにします。



3.スタンドを立てます。

交通の邪魔にならない平らな場所でメインスタンドを立てます。

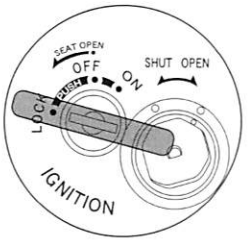
- 左手でハンドルをまっすぐにし、右手はリアキャリアを持ちます。
- メインスタンドの足かけに右足をかけて体重をのせ、リアキャリアを引き上げます。

アドバイス

- やわらかい路面や坂道などでは車が倒れないよう注意してください。

4.ハンドルロックをします。

車から離れるときは、盗難防止のためハンドルロックをかけ、キーシャッタを閉じてください。



⚠警告

- エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。他の人がマフラ、エンジンなどに触れることのない場所に駐車してください。

メ モ

日常点検、定期点検

お車を快適に使用し、事故を未然に防ぐため、法令に準じて日常点検と定期点検を必ず実施してください。

＜日常点検＞

車を使用する人が、1日1回運転の前に実施する点検です。
この車に適用される日常点検の項目は次ページをご覧ください。

＜定期点検＞

車を使用する人自身の責任において定期的に行う点検整備です。

⚠警告

- **日常点検や定期点検を怠ると、事故や故障の原因となることがあります。**

アドバイス

- **お車を使用しないときも定期点検は実施してください。**
- **お車を長期間休ませた後に使い始めるときは入念に点検することが大切です。**

- 定期点検結果は、別冊「メンテナンスノート」に記録する必要があります。ご自身で点検できない項目については、スズキ販売店で点検を受けて記録してください。
- 点検内容など、詳しくは別冊「メンテナンスノート」の“日常点検の方法”“定期点検の解説”をご覧ください。
- 初期点検はお買いあげいただいたスズキ販売店が無料で実施します。ただし他店では有料となります。また油脂代、部品代およびその交換工賃は有料です。

⚠警告

点検は、安全に十分注意してください。

- **平坦な足場のしっかりした場所で、メインスタンドを立ててください。**
- **エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。**
- **排気ガスには一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や風通しの悪い場所でエンジンをかけての点検はやめてください。**
- **点検、整備を行うときは火気厳禁です。**
- **走行して点検する場合は、周囲の交通事情に十分注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご自身またはスズキ販売店で確実に整備してからお乗りください。**

日常点検項目

ブレーキ
- ブレーキレバーの遊び
- きき具合
- ブレーキ液の量

タイヤ
- 空気圧
- 亀裂、損傷、異物、異常摩耗

※溝の深さ

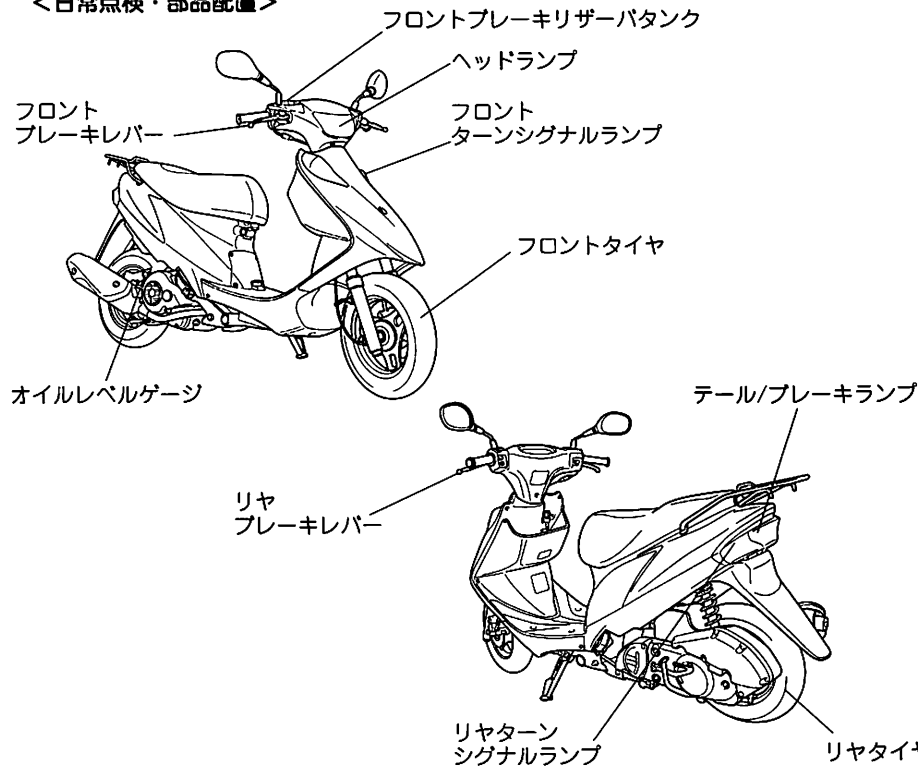
エンジン

※エンジンオイルの量
※かかり具合、異音
※低速、加速の状態

灯火装置、方向指示器(ランプ類)
運行において異常が認められた箇所

※印の点検は、お車の走行距離・状態などから判断して適切な時期に行ってください。(長距離走行の前、洗車時、給油時など)

<日常点検・部品配置>



簡単な整備

ここでは、通常行われることが多い簡単な点検、整備の方法を説明しています。

⚠警 告

- **整備は、安全のためご自身の知識・技量の範囲で行ってください。難しいことはスズキ販売店にご相談ください。**
- **平坦な足場のしっかりした場所で、メインスタンドを立ててください。**
- **エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。**
- **点検、整備を行うときは火気厳禁です。**

⚠注 意

- **整備はエンジンを停止し、キーを抜いた状態で行ってください。**
- **適切な工具を使用しましょう。**
- **スイッチにグリスを塗ったり、油を注したりしないでください。故障の原因となります。**

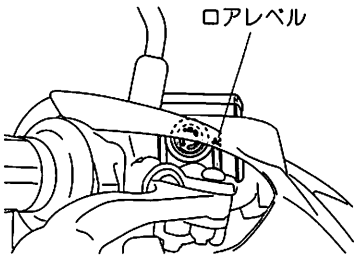
アドバイス

- **油脂類の廃液は、法令で適切な処理を行うことが義務づけられています。廃液の処理はスズキ販売店にご相談ください。**

ブレーキ

■ ブレーキ液の量の点検

平坦地で車体を垂直にし、ハンドルを直進状態にして、リザーバタンクの液面がロアレベルより上にあるかを点検します。液面がロアレベル以下の場合はブレーキパッドの摩耗点検を行ってください。



アドバイス

- **ブレーキ液は安全のため1年毎の交換をおすすめします。**
  指定ブレーキ液：
  スズキブレーキフルードDOT4
  (JIS BF-4)

⚠警 告

- **ブレーキ液の減りが著しいときはブレーキ系統の液漏れが考えられます。スズキ販売店で点検を受けてください。**
- **ブレーキ液を取り扱う前に、容器に記載されている注意文をよく読んでください。**

⚠注 意

- **化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。**
- **リザーバタンク内にゴミや水などが混入しないよう注意してください。**
- **ブレーキ液の入れ過ぎに注意してください。あふれ出るおそれがあります。**

アドバイス

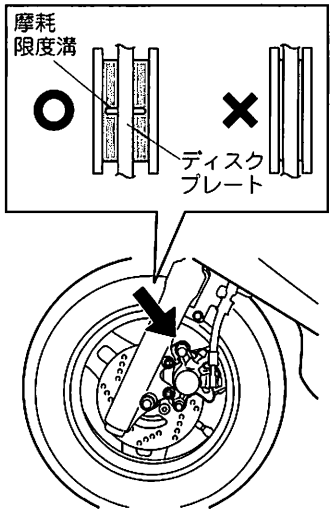
- **ブレーキ液は塗装面やプラスチックおよびゴム類を損傷させます。付着したらすぐにふき取ってください。**
- **ブレーキ液面はブレーキパッドの摩耗と共に、下がっていきます。**

ブレーキ

■ ブレーキパッドの摩耗の点検

ブレーキキャリパをのぞいて、パッドの摩耗を点検します。
摩耗限度溝がディスクプレートまで達したら(パッドの厚さが約1mmになったら)、パッドを交換してください。

<フロントブレーキ>



⚠警告

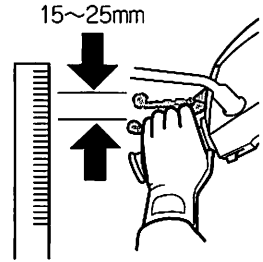
- **ブレーキパッド交換後、ブレーキレバーを、正規のタッチになるまで、数回ストロークしてください。**

アドバイス

- **ブレーキパッドは左右同時に交換してください。**
- **新しいブレーキパッドは、きき具合が違います。慎重な運転を心がけてください。**
- **ブレーキパッドの交換は、スズキ販売店にご相談ください。**

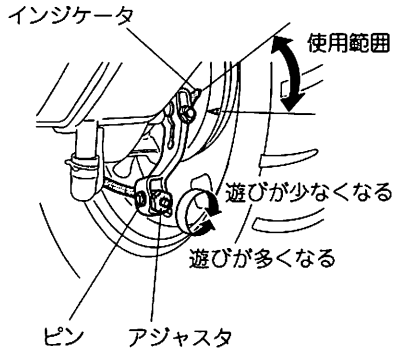
■ ブレーキレバーの遊びの点検

抵抗を感じるまでブレーキレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあるかをスケールなどで点検します。
規定の範囲から外れている場合は調整してください。



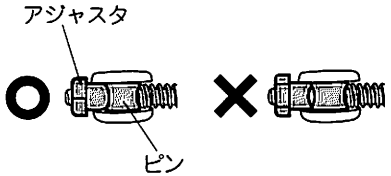
■ ブレーキレバーの遊びの調整

ブレーキカムレバー部のアジャスタにより遊びを調整します。アジャスタを右に回すと遊びが少なく、左に回すと遊びが多くなります。



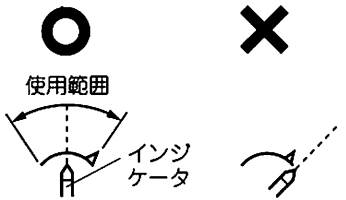
⚠注 意

- **アジャスタ凹部をピンに合わせてください。走行中にブレーキの遊びが変化することがあります。**



アドバイス

- **調整後、遊びが規定の範囲内にあるかを確認してください。**
- **ブレーキレバーをいっぱいに握ったときインジケータの延長線が使用範囲から外れる場合はブレーキシューの使用限度です。**



エンジンオイル

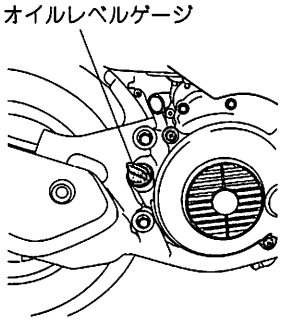
■ エンジンオイル量の点検

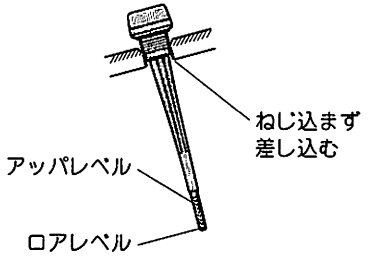
1. 平坦地でエンジンを2～3分間アイドリング運転し、エンジンを停止します。
2. 2～3分後、オイルレベルゲージを外し、付着したオイルを布などでふきます。
3. 車体を垂直にして、オイルレベルゲージをねじ込まず差し込みます。
4. オイルがオイルレベルゲージのアッパレベルとロアレベルの間にあるかを点検します。オイル量がロアレベルに近い場合は、アッパレベルまで補給します。

⚠警 告

- **エンジン停止直後は、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。やけどにご注意ください。**

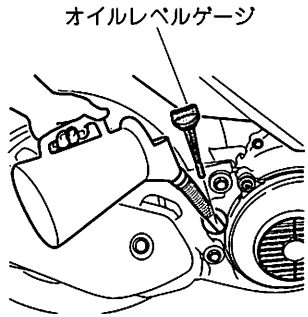
エンジンオイル





■ エンジンオイルの補給

1. 平坦地でエンジンを2～3分間アイドリング運転し、エンジンを停止します。
2. 2～3分後、オイルレベルゲージを外します。
3. 車体を垂直にして、アッパレベルまでオイルを注入します。
4. オイルレベルゲージを確実に取り付けます。



推奨オイル：
スズキ純正オイル

オイル ＼ 規格	SAE	API
エクスターオイル SG 10W-40	10W-40	SG
エクスターオイル TYPE 04	10W-40	SF
エクスターオイル スーパーデラックス	10W-40	SE

推奨オイルが入手できない場合は、次の規格を満足するエンジンオイルを使用してください。

SAE	API	JASO
10W-40	SFまたはSG	—
10W-40	SHまたはSJ	MA

交換時期：初回1か月または1,000km
以降6,000kmまたは1年ごと

⚠警 告

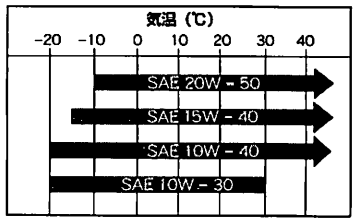
- エンジンオイルを取り扱う前に、容器に記載されている注意文をよく読んでください。

⚠注 意

- 銘柄やグレードの違うオイルを混用したり、低品質オイルを使用しないでください。変質して故障の原因となることがあります。
- オイル注入口からゴミなどが入らないようにしてください。

アドバイス

- SAE10W-40のオイルが入手できない場合は、次の表を参考に使用環境に合うオイルを選んでください。

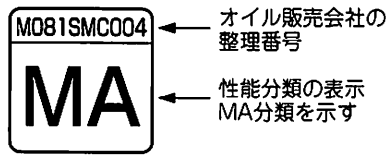


- オイルをこぼしたときは、完全にふきとってください。
- オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。

アドバイス

JASO規格について

- JASO T903は、4サイクル二輪車のエンジンオイルを選ぶ際の指針となる規格です。
- 二輪車は四輪車と異なりエンジンオイルがクラッチやトランスミッションも潤滑しています。JASO T903はこれらクラッチやトランスミッションが要求するオイル性能について規定しています。
- MAとMBの分類があり、本規格に適合するエンジンオイルの容器には、次の表示があります。

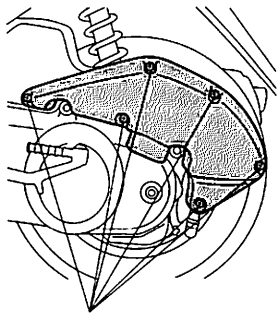


JASO T903適合品
本MA性能の品質保証者
スズキ株式会社

エアクリーナ

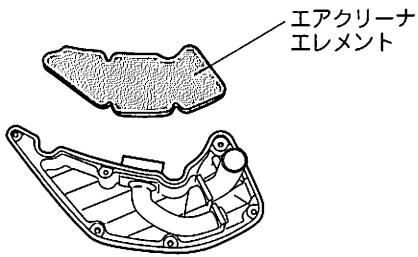
■ エアクリーナエレメントの点検

1.スクリュを外し、エアクリーナキャップを取り外します。



スクリュ

2.エアクリーナエレメントを取り出し、目視により点検します。汚れ、詰まりがある場合は清掃します。



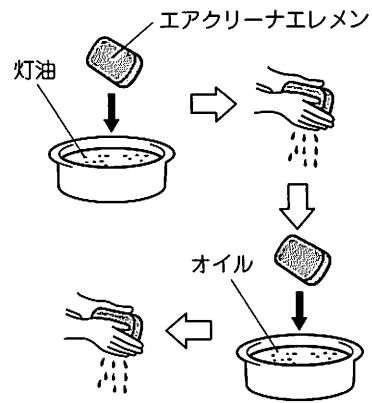
■ エアクリーナエレメントの清掃

1.きれいな灯油で洗い、しぼってから乾燥させます。

2.きれいなオイルに浸し、しぼってオイルを浸透させます。

推奨オイル：

スズキエクスターオイルスーパーデラックス



3.エアクリーナエレメントを取り付けます。

⚠注 意

- **エアクリーナエレメントが破れているときは交換してください。**
- **ガソリンや引火点の低い洗浄剤は、非常に燃えやすいため、エアクリーナエレメントの清掃には使用しないでください。**
- **エアクリーナエレメントおよびエアクリーナキャップの取り付けが不完全な場合、ゴミやほこりを吸入しエンジンに悪影響を与えます。**
- **洗車時、エアクリーナエレメントに水がかからないようにしてください。**

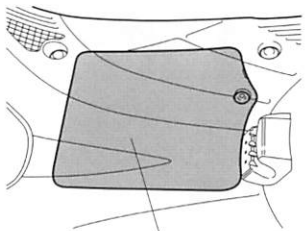
アドバイス

- **エアクリーナエレメントをしぼるときは、ねじらないで両手で押さえるようにしてください。**

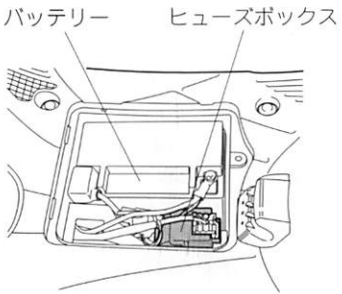
ヒューズ

■ ヒューズの点検

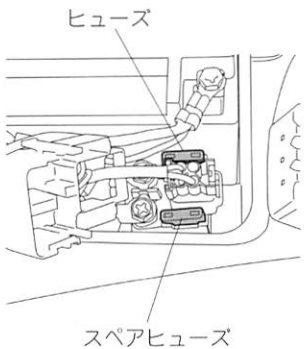
1.メインスイッチをOFFにします。
2.バッテリーカバーを取り外します。

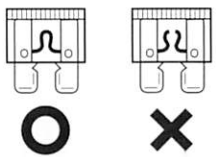


3.ヒューズボックスを開け、ヒューズを取り出します。



4.ヒューズを点検し、切れている場合は、ヒューズを交換します。





⚠警 告

- 指定容量を超えるヒューズは配線の過熱、焼損の原因となるので使用しないでください。

⚠注 意

- 電装品類(ランプ、計器など)を取り付けるときはスズキ純正用品をご使用ください。それ以外のものを使用するとヒューズが切れたり、バッテリーあがりをおこすことがあります。
- 洗車時、ヒューズのまわりに水を強く吹きつけることは避けてください。

アドバイス

- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合はヒューズ以外の原因が考えられます。スズキ販売店にご相談ください。

バッテリー

■ バッテリーの点検

この車は密閉式のメンテナンスフリーバッテリーを使用しています。バッテリー液の点検、補給は必要ありません。
ターミナル部に汚れや腐食がある場合は、取り外して清掃してください。

⚠警 告

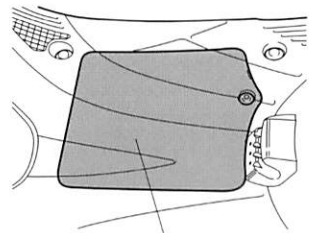
- **バッテリーを取り扱う前に、バッテリーに貼付されている注意文をよく読んでください。**
- **バッテリーには、希硫酸が含まれています。希硫酸が身体に付着すると重いやけどを負うおそれがあります。**
- **バッテリーは引火性ガスを発生します。火気を近づけないでください。**
- **バッテリーは、子供の手の届くところに置かないでください。**

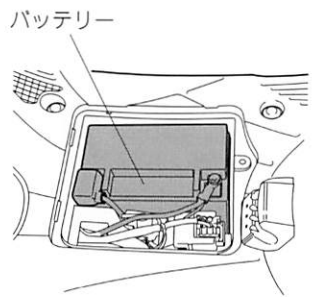
＜バッテリー液が付着した場合は・・・＞

- 目に入った場合は、すぐに多量の水で洗い医師の診察を受けてください。
- 皮膚や衣服に付いた場合は、衣服を脱ぎ多量の水で洗い流してください。
- 万一飲み込んだ場合は、すぐに多量の水を飲んで医師の診察を受けてください。

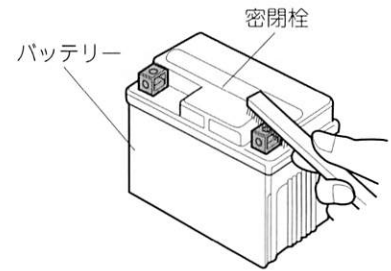
■ バッテリーターミナル部の清掃

1. メインスイッチをOFFにします。
2. バッテリーカバーを外し、バッテリーを取出します。





3. ターミナル部に白い粉が付いているときは、ぬるま湯を注いでふきます。
   腐食が著しいときは、ワイヤブラシかサンドペーパで磨いてください。
4. 清掃後、ターミナル部にグリスを薄く塗り、バッテリーを取り付けます。



アドバイス

- **バッテリーコードを外すときは、必ずメインスイッチをOFFにし、㊀側を先に外してください。取り付けるときは㊉側を先に取り付けます。**
- **ターミナル部にゆるみが生じないように締め付け、㊉側ターミナルカバーを確実に取り付けてください。**
- **密閉栓は取り外さないでください。**

タイヤ

■ 空気圧の点検

タイヤが冷えているときに、タイヤゲージで規定の空気圧かを点検します。
規定値を外れている場合は、適正な空気圧にしてください。

タイヤ空気圧

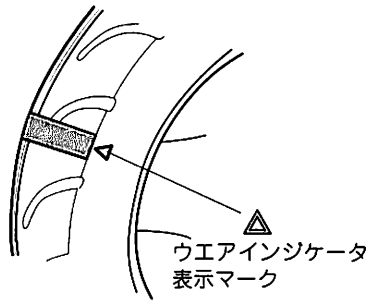
1名乗車時	前	175kPa
	後	225kPa
2名乗車時	前	175kPa
	後	225kPa

⚠警 告

- **不適正な空気圧での使用や、すり減ったタイヤの使用は、転倒事故などの原因となります。適正な空気圧を守り、すり減ったなら交換してください。**

■ 溝の深さの点検

ウエアインジケータがあらわれていないかを点検します。
ウエアインジケータがあらわれたときは、タイヤを交換してください。



アドバイス

- **コーナリングや操縦安定性などの安全走行のために、早めのタイヤ交換をおすすめします。溝の深さは、前1.6mm、後1.6mm以上が望ましいです。**

■ タイヤの交換

タイヤを交換する場合は、必ず指定タイヤを使用してください。

指定タイヤ

前	サイズ	90/90−10 50J
	種類	DUN D306 G
後	サイズ	100/90−10 56J
	種類	DUN D306A

⚠警 告

- **指定外のタイヤの使用は、安全走行に悪影響を与える場合があります。必ず指定タイヤを取り付けてください。**

アドバイス

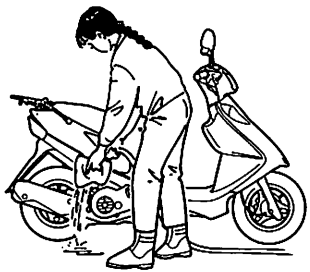
- **新しいタイヤはスリップしやすいので、車を深く倒さないでください。倒す角度は徐々に大きくしてタイヤをならしてください。**

お車の手入れ

洗車

お車を長持ちさせるため常に清掃をしましょう。泥道やホコリの多いところを走行した後は、すみずみまで洗車しましょう。異常などが早く発見でき、故障予防にもなります。

1. 水をかけながら、スポンジまたはやわらかい布で汚れをおとします。
2. ひどい汚れは、中性洗剤を使用して水で洗い流します。
3. 乾いたやわらかい布で、水分をふき取ります。



⚠注 意

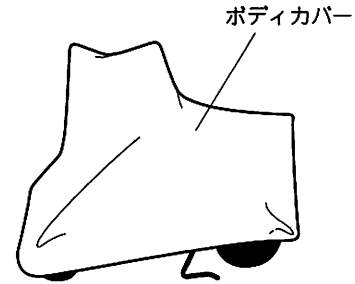
- **洗車はエンジンが冷えているときに行ってください。**
- **洗車時、マフラ、エアクリーナや電装品に水が入らないよう注意してください。水が入ると始動不良やサビ発生の原因となります。**
- **洗車後はブレーキのきき具合が悪くなる場合があります。この場合は、前後の車に十分注意して低速で走行しながら、ききが回復するまでブレーキを軽く作動させてください。**

アドバイス

- **コンパウンド入りワックスなどで、塗装面や樹脂部品を強く磨くと色むらが生じる場合があります。**

保管のしかた

できるだけご自宅の敷地内に保管し、屋外の場合は、ボディカバーをかけるようにしてください。



⚠注 意

- **ボディカバーは、エンジンやマフラが冷えてからかけてください。**

アドバイス

長期間乗らない場合は、次の事項をお守りください。

- 保管前に各部のワックスがけを行ってください。サビを防ぐ効果があります。
- バッテリーは、自己放電と電気漏れを少なくするため、車から外し完全補充電して風通しのよい暗い場所に保存してください。車に積んだまま保存する場合は、㊀ターミナルを外してください。

※補充電は、スズキ販売店にご相談ください。

環境を保護するために

将来、車両を廃棄する場合や使用済みバッテリ、エンジンオイルなどを廃棄する場合は、地球環境を守るため、むやみに捨てないでください。お車を廃棄する場合はお近くの「廃棄二輪取扱店」にご相談ください。

◆ 廃棄二輪取扱店とは

廃棄二輪取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の加盟販売店で廃棄二輪取扱店として登録されている、廃棄二輪車を適正処理するための窓口です。
廃棄二輪取扱店には「廃棄二輪取扱店の証」が表示されています。

廃棄二輪取扱店の証

◆ 二輪車リサイクルマークとリサイクル料金

この車には二輪車リサイクルマークが貼り付けられています。二輪車リサイクルマークが貼り付けられている二輪車は、適正な処理を行い再資源化するための、リサイクル費用がメーカー希望小売価格および車両本体価格に含まれています。お車を廃棄する場合には、リサイクル料金はいただきません。ただしお車の運搬、収集費用はお客様のご負担となります。運搬、収集費用につきましては、お近くの「廃棄二輪取扱店」にご相談ください。

◆ 二輪車リサイクルマークの取扱い

お車を廃棄する場合には、二輪車リサイクルマークが必要となります。マークは車体からはがさないでください。紛失、破損による再発行および部品販売の取扱いはありません。
リサイクルマーク対象車両かどうか不明の場合は、下記のホームページおよびコールセンターでご確認ください。

◆ 廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問合せは、お近くの廃棄二輪取扱店または下記までお問合せください。
(財)自動車リサイクル促進センター
ホームページ：http://www.jarc.or.jp/
二輪車コールセンター
電話番号：03-3598-8075
受付時間：9時30分～17時00分
（土日、祝日、年末年始等を除く）

主要諸元

項目		諸元	
		アドレスV125G	アドレスV125
型式		BC-CF46A	
長さ		1.750m	
幅		0.635m	
高さ		1.030m	
軸距		1.235m	
最低地上高		0.120m	
車両重量		94kg	91kg
乗車定員		2人	
タイヤサイズ	前	90/90−10 50J	
	後	100/90−10 56J	
燃料消費率		56.0km/L (60km/h)	
最小回転半径		1.8m	
エンジン形式		4サイクル・単気筒	
冷却方式		強制空冷	
燃料供給方式		フューエルインジェクション	
総排気量		0.124L	
内径×行程		53.5×55.2mm	
圧縮比		10.0	
アイドリング回転速度		1,600rpm	
最高出力		8.4kW/7,500rpm	
最大トルク		12N·m/6,000rpm	

＊燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。
従って、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

項目		諸元
クラッチ形式		乾式シュー・自動遠心式
トランスミッション		ベルト・自動
減速比	1次	1.000
	2次	2.647×3.133
変速比		2.681〜0.808
キャスター		26° 00′
トレール		82mm
ブレーキ形式	前	シングルディスク
	後	リーディングトレーリング
フューエルタンク容量		6.0L
点火方式		CDI式・バッテリー点火
点火時期		BTDC10°/1,600rpm

サービスデータ

項　　目	調　整　値
リヤブレーキレバーの遊び	15～25mm

タイヤ空気圧	1人乗車時	前	175kPa
		後	225kPa
	2人乗車時	前	175kPa
		後	225kPa

エンジンオイル量	オイル交換時	0.95L
	オイルフィルタ交換時	1.05L
	全　容　量	1.10L

スパークプラグ	種　類	NGK	CR6HSA, CR7HSA, CR8HSA
		DENSO	U20FSR-U, U22FSR-U, U24FSR-U
	ギャップ		0.6～0.7

バッテリー	種　　類	YTX7A-BS メンテナンスフリー
	容　　量	12V—6Ah

ランプ	ヘッドランプ　H/L	12V 40/40W
	ストップ／テール	12V 18/5W
	ターンシグナル	12V 16W

ヒューズ	10A

車台番号

アフターサービスなどを的確に行うため、お車の車台番号を記入しておいてください。

機　　種	アドレスV125/G
車台番号	CF46A-

車台番号はフレーム右側下部に打刻してあります。

お車やサービスなどについてのご相談、ご意見がございましたら、お買いあげのスズキ販売店またはメンテナンスノート巻末に記載されている、お近くのスズキ二輪代理店にお申しつけください。

お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするために次の事項を必ずご確認のうえ、ご相談ください。

① 機種、型式、車台番号
② 購入年月日　④ 相談事項
③ 走行距離　⑤ ご住所、お名前、電話番号

お買いあげの販売店

[TEL]

スズキ株式会社の窓口は…
〒432-8611　浜松市高塚町300
スズキ株式会社
お客様相談室
◆ フリーダイヤル 0120-402253
受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00

弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取扱いにつきましては、スズキ株式会社のホームページに掲載していますのでご覧ください。
(http://www.suzuki.co.jp)

こんなときは、スズキ販売店に持ち込む前に次のことを調べてみてください。

エンジンがかからない
- かけかたは取扱説明書どおりですか
- ガソリンは入っていますか

ブレーキがきかない
- ディスクブレーキはブレーキパッドの摩耗、ドラムブレーキはブレーキレバーの遊びを点検してください

ランプ類が点灯しない
- ヒューズが切れていないかを点検してください

安全運転5か条

① 安全速度を必ず守りましょう。

② カーブの手前でスピードを落としましょう。

③ 交差点では必ず安全を確かめましょう。

④ 一時停止で横断歩行者の安全を守りましょう。

⑤ 飲酒運転は絶対しないようにしましょう。

SUZUKI
スズキ株式会社
本社：〒432-8611　浜松市高塚町300

K7 99011-33GA0 Ⓒ 0612-0 小 Ⓢ
Printed in Taiwan